

リチウムイオン電池からの火災にご注意を！

～様々な用途に用いられるリチウムイオン電池の火災が増えています～

携帯充電器(以下「モバイルバッテリー」という。)、スマートフォン、タブレット、電子たばこ、ノートパソコンなどに使用されているリチウムイオン電池を充電中及び使用中などに火災が増えています。

リチウムイオン電池とは

リチウムイオン電池は、小型で大量の電力を必要とする製品に使用されています。一般的に使用されているニッケルカドミウム電池、ニッケル水素電池などと比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。

このような兆候があるときは要注意！

- バッテリーの減りが速くなった。
- 充電中に依然と比較して、熱くなっていた。
- 内部から膨張し、変形していた。
- 充電しても満充電にならない。
- 充電中に異臭がした。



出火の原因となる誤った使い方

- 水没したが、時間が経ち、また使用できるようになったので、使用していた。
- 専用の充電器で、充電していない。
- 専用充電器が壊れ、差し込みの合う充電器を使っていたが、電圧の確認はしていない。
- スマートフォンなどを、ポケットに入れたまま座ってしまい、強い外力を与えた。
- 夏季の車内など、高温となる場所に長時間放置していた。

火災を防ぐために

- 各機器を購入した時に付属されている充電器やメーカー指定の物を使用しましょう。
- 接続部が合致するからといって、充電電圧を確認せずに使用するのはやめましょう。
- 膨張、異音、異臭など異常が生じたものを使用するのはやめましょう。
- 充電が最後までできない、使用時間が短くなった、充電中に熱くなるなどの異常があった際には使用をやめて、メーカーや販売店に相談してください。
- 廃棄の際には、事業団体が回収するリサイクルへ出しましょう。

万が一発火した時には

電池から火花の飛び散っている時には近寄らず、火花が収まってから消火器や大量の水で消火するとともに119番通報してください。

